

第四十二回

白謡会・研究会番組 (平家物語集)

令和二年二月二日(土) 午前十時始

於・横浜能楽堂・本舞台 (045・263・3050)

連吟

屋島 シテ 宮内 達雄

地謡・◎山形隆康、◎三武孝、◎長谷川次八 ほか男性

熊野 シテ 御園生佐弥子 ワキ 鈴木 紀子

地謡・◎森川洋子、◎内田節子、◎石井静江、◎鈴木幸子 ほか女性

仕舞

難波 齊藤千賀子

経 正キリ 姥澤 賢

東北クセ 尾崎 純子

羽 衣キリ 御園生佐弥子

采 女キリ 糸井多倍子

善知鳥 内田 洋子

地謡・松嶋總子、大江修一郎、平戸仁英、青山圭佑、北島大靖

素謡

忠度 シテ 加藤千恵子 ワキ 河野 健三

地頭・◎舍川重隆、◎平戸仁英、◎青山圭佑

ツレ 森川 洋子

千手 シテ 小島 洋子 ワキ 石井 静江

地頭・◎深田晴美、◎橋本鏡子、◎御園生佐弥子

仕舞

竹生島 森 庸一

清 経キリ 山口 健次

東北クセ

常深渡

蟬丸

長谷川次八

玉鬘

小林 宏三

地謡・小林宏三、山口健次、平戸仁英、森庸一、長谷川次八、常深渡

素謡

ツレ 森庸一

通盛

シテ 白水 二郎

ワキ 神崎 克子

地謡・◎石原明彦、○小林宏三、○姥澤賢

連吟

二人静

シテ 高井 倫子

ツレ 齋藤 三紀

地謡・橋本鏡子、齋藤千賀子、龍田啓子、大久保勝子、竹川綾子 ほか女性

熊坂

シテ 三武 孝

ワキ 北島 大靖

地謡・青山圭佑、山形隆康、長谷川次八、天野忠雄、宮内達雄

素謡

實盛

シテ 舍川 重隆

ワキ 平戸 仁英

ワキツレ 山口 健次

地頭・◎大江修一郎、○石原明彦、○青山圭佑

仕舞

高砂

松嶋 總子

難波

橋本 鏡子

櫻川クセ

堤 美代子

西行桜クセ

中尾 操

笹之段

大久保勝子

巻 絹キリ

森川 洋子

笠之段

龍田 啓子

地謡・尾崎純子、深田晴美、平戸仁英、白水二郎、姥澤賢

素 謡

子方 長谷川次八

鞍馬天狗

シテ 常深 渡 ワキ 天野 忠雄

地謡・◎北島大靖、○山形隆康、○河野健三

附祝言

(終演午後四時半頃)

注①

今回は本舞台を使用しますが、研究会は元来内輪の会で、お互いの芸を身近に鑑賞しあうことを目的としておりますので、出演後は速やかに見所に行かれるようお願い致します。演目と演目の間に移動時間を設けますので、一つの演目が終わった後で、次の演目の出演者は見所から切戸口に移動して下さい。楽屋は着替えのみの目的で使用します。三武幹事に地謡への参加者リストを作成して頂きました。このリストを参照の上、積極的に地謡にご参加下さい。リストに記載されていない方で地謡参加を希望される場合は、予めお申し出下さい。また、素謡、連吟共に、お役の方も出来るだけ地謡に参加して下さい。舞台と見所間の移動のため、スリッパを必ずご持参ください。昼食は、各自で弁当などをご用意頂き、適宜、ロビーにて召し上がって下さい。また、飲み物としてペットボトルなどをご持参下さい。

注②

素謡は原則として省略箇所を儲けません
連吟の範囲は左記の通りです

注③

「屋島」 〓 十二丁表のシテ「思いぞ出する・・より、十四丁表の地謡留まで(クセのアゲハ前)

「熊野」 〓 七丁裏のワキ「いやいやさように・・より、ロンギ留まで

「二人静」 〓 七丁裏のツレ「げに恥ずかし・・より最後まで

「熊坂」 〓 九丁表のワキ「夜も更け・・より最期まで

注④

番組上の仕舞地謡の氏名は、正面席に向かつて左からの着席順序を示します。

注⑤

会費は白謡会既定の役料に懇親会費等を基本会費として加算させて頂きます。各自で当日に会計幹事(小林様、常深様、堤様)にお支払い下さい。

注⑥

会の終了後、「一ノ蔵」で、簡単な懇親会を催します。

(01・05版)